

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校1年生	教科／科目	言語文化	時間数	2時間
1学期中間試験まで					
単元名	第13章 日本語の変遷「近代語の成立」			使用教材	
単元の概要	話し言葉と書き言葉・書き言葉の変遷について知る			筑摩書房『言語文化』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準			単元内容		
究	A3 文学史的に口承文学から記載文学への変遷、記載文学の中での文体の変遷について知る。	B3	C3	・古典文学から近代文学になるにあたって坪内逍遙や二葉亭四迷の言文一致運動が起こり、近代文学の先駆けとなったことを知る。 ・これから古典(古文・漢文)を学ぶにあたり、文法的な違いや仮名遣いの違いが時代の変遷と共に変わっていることを知り、興味を持つ。	
活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2	C2		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	B1	C1		
			〈留意点・評価〉 〈主体性〉 ・言葉遣いや文法的な相違について興味を持つことができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・言文一致運動が文学にとって革新的であったことを理解できたか。		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校1年生	教科／科目	言語文化	時間数	2時間
1学期中間試験まで					
単元名	第1章 古文への扉 「児のそら寝」			使用教材	
単元の概要	ぼた餅を食べようと寝たふりをして企んでいた児が、体面とプライドの間で揺れ動き、結局ぼた餅を食べ損なった上に、狸寝入りをしていたことが周囲の僧侶にわかってしまった話。			筑摩書房『言語文化』・京都書房『新訂国語図説』・桐原書房『重要 古文単語』・第一学習社『完全マスター古典文法』	
評価規準				単元内容	
究	A3 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B3	C3	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、用言の活用を習得する。 ・児の行動から人柄や心理を読み取る。 	
	活	A2 文章の概要を掴むことができる。	B2 文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。		
礎		A1 語句に関する知識（言葉の意味など）・古典文法の口語文法との違いを習得し、活用することができる。	B1 児の行動や心理、人柄を読み取り、自分なりの考えを構築できる。	C1	〈留意点・評価〉
		知性・知識	応用・発展	創造的思考	〈思考・判断・表現〉 ・語句の知識、文法の知識を身につけることができたか。 ・良秀の行動から人柄、心理を読み取ることができたか。

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校1年生	教科／科目	言語文化	時間数	2時間
1学期中間試験まで					
単元名	第14章 想像力がひらく世界「羅生門」			使用教材	
単元の概要	理性で行動するのではなく、あるときは正義感に燃え、またあるときは生き延びるために悪事を働くといった、感情や無意識に支配され行動する人間の不安とその人間によって構成される社会の危うさを主題にした小説。			筑摩書房『言語文化』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準				単元内容	
究	A3 筆者や歴史的背景、作品の評価など、あらゆる背景知識を踏まえた立体的で深い読解ができる。	B3 まとめた自分の意見をわかりやすく工夫して発表し、他者の意見と比較しながら再構築することができる。	C3	・当時の歴史的な状況を知る。 ・時間経過や老婆との会話によって下人の心情がどのように変化したか押さえる。 ・下人の心情の変化から主題に迫る。 ・芥川龍之介が題材とした今昔物語の文章と比べて近代文学の意義・特徴について考える。	
	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 自分なりに考える「羅生門の主題」について根拠を明らかにし、論理的な意見にまとめることができる。	C2 芥川龍之介がこの作品を題材として短編小説を書いたことを踏まえ、近代文学の意義・特徴について考える。		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し、客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉 〈主体性〉 ・PBLの参加態度、発言、意見 ・主題を自分に引きつけて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・下人の心情の変化をきちんと押さえることができたか。 ・下人の心情の変化から主題を読み取ることができたか。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校1年生	教科／科目	言語文化	時間数	2時間
1学期期末試験まで					
単元名	第9章 漢語の特色 「借虎威」			使用教材	
単元の概要	「虎の威を借りる狐」という故事成語のもとになった話。			筑摩書房『言語文化』・京都書房『新訂国語図説』・第一学習社『完全マスター古典文法』・京都書房『漢文学習総合演習ノート』	
評価規準				単元内容	
究	A3 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B3	C3	<ul style="list-style-type: none"> ・返り点の読み方、書き下し文への直し方を身につける。 ・漢文に慣れ親しむ態度を身につける。 ・句法、助詞、置き字など漢文の基本的な決まりを理解する。 ・故事成語やそこから得られる教訓の面白みを感じる。 	
活	A2 文章の概要を掴むことができる。	B2	C2		
礎	A1 語句に関する知識（言葉の意味など）・この単元で用いられている句法を習得し、活用することができる。	B1 故事成語というものの自体の面白みを実感することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し、客観的に考えることができる。		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校1年生	教科／科目	言語文化	時間数	2時間
1学期期末試験まで					
単元名	第2章 人間の普遍的な姿「竹取物語 かぐや姫の昇天」「伊勢物語 芥川」			使用教材	
単元の概要	竹取物語:かぐや姫が月に帰っていかうとする場面 伊勢物語:長年求婚していた女と駆け落ちをするが、途中で鬼に食べられてしまう話。			筑摩書房『言語文化』・京都書房『新訂国語図説』・桐原書房『重要 古文単語』・第一学習社『完全マスター古典文法』	
評価規準				単元内容	
究	A3 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B3	C3	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の中に出てくる助動詞など文法的な事柄を身につける。 ・「竹取物語」から始まる「物語」の文学的な変遷を知る。 ・伝承を把握し、物語の発想・表現を読み味わう。(竹取物語) ・歌が紡ぎ出す歌物語の叙情的な美を読み味わう。(伊勢物語) 	
活	A2 文章の概要を掴むことができる。	B2 時代的な背景を押さえた上で文章の主題に対して自分の身に引きつけて意見を構築することができる。	C2		
礎	A1 語句に関する知識(言葉の意味など)と文法的な知識を習得し、活用することができる。	B1 登場人物の行動から心情や人柄を読み取り、自分なりの考えを構築できる。	C1		
				〈留意点・評価〉	
				〈思考・判断・表現〉 <ul style="list-style-type: none"> ・語句の知識、文法の知識を身につけることができたか。 ・物語の面白さを味わうことができたか。 ・歌物語の詞章と和歌の紡ぎ出す味わいを感じる事ができたか。 	
知性・知識		応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校1年生	教科／科目	言語文化	時間数	2時間
2学期中間試験まで					
単元名	第15章 多彩な表現とイメージ 「物語る声を求めて」			使用教材	
単元の概要	近代文学に対する口承文学の魅力を語る随筆			筑摩書房『言語文化』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準				単元内容	
究 活	A3 筆者について踏まえ、筆者の考えている「口承文学の魅力・近代文学との差異」について立体的で深い読解ができる。	B3	C3	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が考える口承文学と記載文学の違いを理解する。 ・近代文学が見失ってきた口承での言語文化とは何かを考える。 	
	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 口承文学と記載文学の違いについて根拠を明らかにし、論理的に意見をまとめることができる。	C2		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し社会問題などに結び付けながら客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉 〈主体性〉 ・PBLの参加態度、発言、意見 〈思考・判断・表現〉 ・この作品の主題について理解し、自分の身に引きつけて深い考察ができたか。 ・多角的な視点や論理的な根拠を持って自分なりに口承文学の意義について意見をまとめることができたか。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校1年生	教科／科目	言語文化	時間数	2時間
2学期中間試験まで					
単元名	第3章 自分という他者「土佐日記 門出」「更級日記 東路の路の果て」			使用教材	
単元の概要	土佐日記:土佐から帰京するために準備している場面 更級日記:筆者が幼少期を過ごした上総から帰京しようとする場面			筑摩書房『言語文化』・京都書房『新訂国語図説』・桐原書房『重要 古文単語』・第一学習社『完全マスター古典文法』	
評価規準				単元内容	
究	A3 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B3	C3	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の中に出てくる助動詞など文法的な事柄を身につける。 ・「土佐日記」から始まる「日記文学」の文学史的な変遷を知る。 ・仮名散文の表現性についての理解を深める。 ・日記文学の特質を、内容・表現から把握する。 ・作品を通して作者の心情やものの考え方を理解する。 	
活	A2 文章の概要を掴むことができる。	B2 時代的な背景を押さえた上で文章の主題に対して自分の身に引きつけて意見を構築することができる。	C2		
礎	A1 語句に関する知識(言葉の意味など)と文法的な知識を習得し、活用することができる。	B1 筆者の心情やものの考え方を読み取り、自分なりの考えを構築できる。	C1		
				〈留意点・評価〉	
				<ul style="list-style-type: none"> ・語句の知識、文法の知識を身につけることができたか。 ・仮名散文の表現性や日記文学の特性を知ることができたか。 ・作者の心情やものの考え方を読み取り、自分なりの考えを持つことができたか。 	
知性・知識		応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校1年生	教科／科目	言語文化	時間数	2時間
2学期中間試験(徒然草)・期末試験(方丈記)まで					
単元名	第4章 ことばに表れる意思「徒然草 花は盛りに」「方丈記 ゆく河の流れ」			使用教材	
単元の概要	徒然草:花盛りや雲のかかっている月など欠点や不足のない状態だけが素晴らしいわけではないという筆者の主張 方丈記:諸行無常を説いた有名な冒頭文			筑摩書房『言語文化』・京都書房『新訂国語図説』・桐原書房『重要 古文単語』・第一学習社『完全マスター古典文法』	
評価規準				単元内容	
究	A3 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B3	C3	・単元の中に出てくる助動詞など文法的な事柄を身につける。 ・「枕草子」から始まる「随筆」の文学史的な変遷を知る。 ・中世の随筆の特徴を味わう。 ・作品に描かれた作者のものの考え方を理解する。(徒然草) ・和漢混淆文のリズムに注目し、哀調を持った文章や行動を現実的に描いた表現の特色を味わう。(方丈記)	
活	A2 文章の概要を掴むことができる。	B2 時代的な背景を押さえた上で文章の主題に対して自分の身に引きつけて意見を構築することができる。	C2		
礎	A1 語句に関する知識(言葉の意味など)と文法的な知識を習得し、活用することができる。	B1 筆者の心情やものの考え方を読み取り、自分なりの考えを構築できる。	C1 主題をメタ化・一般化し、社会問題などに結び付けながら客観的に考えることができる。		
				〈留意点・評価〉	
				〈主体性〉 ・PBLの参加態度、発言、意見 〈思考・判断・表現〉 ・語句の知識、文法の知識を身につけることができたか。 ・中世の随筆の特徴を味わうことができたか。 ・文体の特性、作者の心情やものの考え方を読み取り、自分なりの考えを持つことができたか。	
知性・知識		応用・発展		創造的思考	

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校1年生	教科／科目	言語文化	時間数	2時間
2学期期末試験まで					
単元名	第10章 言動に表れる人間の本质「管鮑之交」 第12章 読みつがれることば「雑説」			使用教材	
単元の概要	管鮑之交:「お互い深く理解し合う友人」を意味する故事成語の由来となった文章 雑説:能力のある人を見いだしてくれる人こそ貴重であるという趣旨の文章			筑摩書房『言語文化』・京都書房『新訂国語図説』・第一学習社『完全マスター古典文法』・京都書房『漢文学習総合演習ノート』	
評価規準				単元内容	
究	A3 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B3	C3	<ul style="list-style-type: none"> ・句法、助字、置き字など漢文の基本的な決まりを理解する。 ・登場人物の人間関係を整理して把握する。 ・中国の歴史上の人物の生き方や思想を理解する。 ・論理関係と表現技法に着目して読解する。 	
活	A2 文章の概要を掴むことができる。	B2	C2		
礎	A1 語句に関する知識(言葉の意味など)・この単元で用いられている句法を習得し、活用することができる。	B1 管仲と鮑叔の友情や伯樂の重要性に対して自分の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し、客観的に考えることができる。		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック					
学年／コース	高校1年生	教科／科目	言語文化	時間数	2時間
学年末試験まで					
単元名	第6・11・16章 韻文の表現(一)(二)(三)「樹下の二人」「万葉集」「古今集」「新古今集」「短歌」「俳句」「江雪」「望廬山瀑布」「登岳陽楼」			使用教材	
単元の概要	近体詩・短歌・俳句・漢詩の読解			筑摩書房『言語文化』・京都書房『新訂国語図説』・桐原書房『重要 古文単語』・第一学習社『完全マスター古典文法』・京都書房『漢文学習総合演習ノート』	
評価規準				単元内容	
究	A3 筆者や歴史的背景、作品の評価など、あらゆる背景知識を踏まえた立体的で深い読解ができる。	B3	C3	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の知識、文法の知識、韻文の修辞法を身につける。 ・解釈、鑑賞をもとに俳風・歌風の特徴や変遷を理解する。 ・漢詩における近体詩の形式や修辞法について理解する。 ・それぞれの代表的な作者について知り、文学的な変遷についての知識を得る。 ・それぞれの作品に詠み込まれた心情やイメージを味わい、理解する。 	
活	A2 イメージと韻律(響きとリズム)をもとにその世界を深めていくことができる。	B2 その作品について自分に引き付け、どのような心情や世界観、イメージを読んでいるのかを他者に理解できるように説明できる。	C2		
礎	A1 語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)・文法的な知識・韻文の修辞法を習得し、活用することができる。	B1 その作品について自分なりのイメージを深め、味わうことができる。	C1 表現方法の違いについて、他の言葉に置き換えた時の違いを比べたり、他の状況に例えたり、他の作品と比べたりして深く味わうことができる。	〈留意点・評価〉	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	<ul style="list-style-type: none"> 〈主体性〉 ・PBLの参加態度、発言、意見 ・それぞれの作品の持っている世界観やイメージ・主題について自分に引き付けて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・語句の知識、文法の知識、韻文の修辞法を身につけることができたか。 ・それぞれの作品の持つ韻律や修辞法の特徴、表現の工夫などを知り、それが作品にどのような影響を与えているのかについて考え、味わうことができたか。 	